

# 事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表: 令和 2年 2月 28日

事業所名 発達療育 レンテ川崎

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		サービスごとに必要な道具を用意している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていない	客観的な評価を実施していただける機関への依頼を検討していく
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		スーパーバイザーが頻回に介入している	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		VB-MAPPを用いている	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		スタッフの意見を集約して作成している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		頻回にスーパーバイザーが入ることで柔軟に対応している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの課題に合わせて個別と集団を提供している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		<input type="radio"/>	週7日営業で全スタッフが集まることができないため記録による共有により対応している。緊急事態はメールや電話、ITツールを使用	営業時間、サービス提供時間の見直しなどにより情報共有の時間が取れるように検討する

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		<input type="radio"/>	週7日営業で全スタッフが集まることのできないため記録による共有により対応している。緊急事態はメールや電話、ITツールを使用	営業時間、サービス提供時間の見直しなどにより情報共有の時間が取れるように検討する
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		必要に応じて相互の見学や情報共有を図っている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		必要に応じて相互の見学や情報共有を図っている	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		必要に応じて相互の見学や情報共有を図っている	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	個人情報への配慮との兼ね合いで実現していない	他事業所の催しなどを参考に検討する
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	開催の事実があることを知らない	自治体等に開催の有無を確認する
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		毎回フィードバックの時間を設けている	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		必要性や要望に応じて行っている		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>				
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		毎回相談の時間を設けている		
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>				
35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	個人情報への配慮との兼ね合いで実現していない	他事業所の催しなどを参考に検討する	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	⑩6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			
	⑩7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		<input type="radio"/>	事業所内イベントはあるが会報等による発信は行っていない	必要な情報を精査して、情報の発信を検討する
	⑩8	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>			
	⑩9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		PECSやジェスチャーの指導を行っている。また日本語以外に対応するための翻訳機を置いている	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	個人情報への配慮との兼ね合いで実現していない	他事業所の催しなどを参考に検討する
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>			
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		年に2回、全員が参加できるように行っている	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>			
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>	アレルギーは事前に把握しており対応しているが医師の指示書が必要な対応は行っていない	必要性に応じて指示書に基づいた対応を行う
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		<input type="radio"/>	身体拘束の有無は記録しているが、支援計画書への記載はないため、記載していく予定	支援計画書に記載を行う

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

別紙4

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名 : 発達療育 レンテ川崎 \_\_\_\_\_ 保護者等数 (児童数) : 21 (23) 回収数 : 15 割合 : 71%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	2			・もう少し広ければ尚良い(1件) ・室内遊びだけでなくブランコやボール遊びなど広々遊べる(1件) ・十分(1件)	活動に合わせて、公園や外部施設を活用する機会を、更に広げられるように尽力します。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	2			・職員数に疑問を持ったことはない(1件) ・支援者によって技術にバラつきがあるように感じる(1件)	社内外の研修によって一定のスキルは保てるように努力していますが、どうしても経験差等によるバラつきは出てしまうようです。より一層の研鑽を進めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	1		1	・子ども、指導者を共に虐待から守るために各部屋の扉に外から目が届くよう小窓を設置してほしい ・特に不便に思ったことはない	設備の改修は難しいため、引き続き動画撮影を行うことで、虐待防止の一環として参ります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				・子どもがのびのび出来ていると思う(1件) ・部屋については言うことなしで心地よい(1件) ・立地が悪く周辺の環境が子どもに悪影響を与えかねない(1件)	立地についてはお子さまが通う施設として完全に適切とは言えないことはご容赦ください。より良い環境への移転も検討して参ります。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	1			・親として普段気になっているような事を汲み取られている(1件)	引き続きお子さま・ご家族にとって必要な支援が行えるよう努めます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1		2	・とてもたくさんの方に気付いていただき、とても分かりやすい内容が設定されていると感じる(1件)	引き続き支援内容とその結果が分かりやすく示せる設定に努めて参ります。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	2				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	5	4	・事業所として行っている活動はないと思う(1件) ・3歳以下で保育所との交流はない(1件)	個人情報の兼ね合い等を考慮しながら、機会を模索して参ります。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1				
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	2		2		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	2	1	3	・別事業所で行っている(1件) ・あまりない(1件)	ペアレントトレーニングはお子さま・ご家族の必要性とご要望に応じて行っているため、全ケースには提供していない現状です。今後より一層ニーズを探りながら進めて参ります。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	3			・フィードバックがまいち(1件) ・ないと思う(1件)	実態を確認して、適宜研修やスーパービジョンを行うことで質の改善に努めて参ります。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			・定期フィードバックは行われている(1件) ・フィードバックがまいち(1件) ・動画視聴の案内はもっと詳しくしてほしい。動画が長いのに見る時	実態を確認して、適宜研修やスーパービジョンを行うことで質の改善に努めて参ります。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	8	4	・保護者会等の機会はない ・別事業所で行っている ・保護者のつながりはない(個別だからか?)	保護者様間の連携を支援する活動は、現在行っておりません。ご要望を探りながら、検討して参ります。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	3		2		
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	3	1	1		
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2	1	6	・行事予定は書面でもらえるのでよく分かる(1件)	書面でのお知らせを今後も継続して参ります。ホームページについては、更新作業を行っている最中です。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	13	1		1		
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13			2		
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			1		
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	13	1		1	・一度も行きたくないと言ったことがない(1件) ・楽しいと言っている、それが何より(1件)	指導を行うため行きしぶりが起きることもあるかと存じます。そんな中、暖かい言葉をくださり、本当にありがとうございます。今後も楽しく通っていただけるよう尽力いたします。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	14			1	・いつもありがとうございます(1件) ・とても満足している(1件)	ありがとうございます。お言葉を励みに、より一層良い支援が行えるよう努めて参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。